

## かわさき区の宝物シート

宝物No.	しおどめいなり <b>汐留稲荷</b>		
13-1			
エリア	大師地区	シーズン	通年
	池上新町	日時	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他		
宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 人物		



所在地	川崎区池上新町2-24-21
問い合わせ	若宮八幡宮
TEL	044-222-3206
FAX	044-233-3060
E-mail	
URL	
交通	JR川崎駅よりバス「臨港警察署前」下車徒歩3分



### 基礎情報

■豊宇気姫命、大物主大神、崇徳天皇、池上太郎左衛門幸豊命を祭神とする社で、宝暦11年(1761)に池上新田村の守護神として現在の塩浜4丁目（川崎貨物駅構内）に勧請されたのがはじまりとされる。境内には「池上幸豊翁之碑」が建立されている。

### 由来・エピソード

■現在の池上新町と池上町は江戸時代、池上家24代幸豊によって開墾され「池上新田」と命名された土地である。幸豊は享保3年(1718)大師河原村生まれ。12歳で亡くした父・幸定の跡を継いで大師河原村の名主となった。この池上新田の開発によって功績を上げると、以降、製塩や芒硝（医薬品の原料）、ナシ・ブドウの果樹栽培、和製砂糖・氷砂糖の製造と諸国への伝法の行脚など産業開発にも貢献し、川崎の発展に大きな功績を残した人物である。

■現在地はかつての池上家の広い屋敷地の一角にあたり、明治時代に塩浜から今の場所に移されたとい

### 補足・その他

### 関連シート

(10-2)池言坊  
 (12-1)四谷義田稲荷神社  
 (31-3)池上幸豊